

初参加 常葉中学校より

「勤労観」「職業観」を育むために、総合的な学習の時間を活用し、1年 ポスターセッション、パネルディスカッション、2年 マナー講習会・職場体験、3年 社会労務士講演会とすべての学年においてその発達段階に応じた取組みを横須賀商工会議所のお力添えのもと実施しています。学ぶことと働くことを関連付け、最終的に「生きる力」を育成することにより、将来自分が生まれ育った地域の発展に貢献する人材となるよう、時代の進展に合わせながら持続可能な形を常に模索し、商工会議所のお力を頂戴しながら本校のキャリア教育を推進したいと考えています。



常葉中学校
平井 慶一郎 様

2021年度は56社にご協力いただきました (会社・事業所名)

アダジオ法律事務所	宇内建設㈱	辻フラワーガーデン
網元 房竹丸	神奈川トヨタ自動車㈱	ながしま農園
(一社) 横須賀市観光協会	木村金属工業㈱	ネイルサロンSu*
(一社) 横須賀市助産師会	損害保険ジャパン㈱横浜中央支店 横須賀支社	パーティー&ギフト Painal
(一社) よこすかの音楽家を支援する会	横須賀カレー本舗㈱	hair salon MELCI
(医療社団) Resonare黒坂医院	横浜製機㈱	漫画家 藤臣美弥子様
学校法人 大津学園	日本水産観光㈱	横須賀市消防局
認定こども園 大津幼稚園・保育園	㈱佐久間建具店	横須賀市自然・人文博物館
(社福) ユーアイ二十一	㈱上海亭	横須賀市立うわまち病院 看護部
特別養護老人ホーム 太陽の家	㈱たのし屋本舗	横浜テクノオート専門学校
NPO法人グリーンクラブ	北下浦郵便局	プロサッカー選手 大久保哲哉様
海上保安庁 横須賀海上保安部	作曲・アレンジ 内田祥子様	横浜サワディーブリッジ
かながわ信用金庫	シューシャイン Chum's Bar	YOKOSUKA男性看護師会
神奈川県横須賀警察署	STUDIO AROG 篤史	YRP情報産業協同組合
神奈川県浦賀警察署	武山郵便局	



大津幼稚園・保育園 (保育士)



㈱上海亭 (飲食店)



内田祥子様 (作曲・編曲家)



北下浦郵便局 (郵便局長)



STUDIO AROG (似顔絵師)

- 神奈川県社会保険労務士会
- ㈱アンカー Cool Clan URAGA
- ㈱SSウェブデザイン
- ㈱グローアップシステム
- ㈱サンエー
- ㈱JTB 横須賀支店
- ㈱湘南衣笠ゴルフ
- ㈱ジーマ チアーズブライダル
- ㈱スマイル
- ㈱タウンニュース社 横須賀支社
- ㈱トライアングル
- ㈱永島農縁
- ㈱美装
- ㈱Macmillan



“キャリア教育”皆様のおかげで14年!

たねまる通信

第3号

2022年3月

よこすかキャリア教育推進事業

このロゴマークの意味は、よこすかキャリア教育という種には「人と人とのつながりで笑顔が広がり地域が活性化しますように!」というみんなの願いが託されていることを表しています。桃色の種は温かい「交流」による豊かさを表し、黄色い種は学生に託す「希望」を表し、そして青い種は「安らぎ」をあたえてくれる横須賀の自然を表現しています。(協力: 横浜デジタルアーツ専門学校)

「子どもたちの未来を育てる事業に協力、地域貢献の証」 ～協力店への『金メダル』ステッカーができました!～



平成20年の事業開始から14年、MTT (マイタウンティーチャー)として、市内中学校でのプログラムご協力いただいた方は延べ約2,200人以上。

「花屋さん、建具屋さん、ネイリストに似顔絵師、デザイナー、ブライダル、皮磨き職人、漫画家、音楽家、介護士、看護師、助産師、整体師、美容師、弁護士、居酒屋店主、海上保安官、警察官、消防士、漁師、農家、料理人、地域企業経営者などなど…」みなさまボランティアとして子どもたちのために快く協力してくださっています。

感謝とともに、この貢献と協力をぜひ地域の人に知ってもらいたいという思いで金メダルステッカーを作成しました。

「子どもたちの未来を育てる事業に協力 地域貢献の証」として店頭や事業所や車など、お客様の目にとまる場所に貼り活用していただくことで、地域の方々に知っていただきたい。そしてさらに多くの地域企業に参加してもらいたいと考えています。

減少傾向にあった新型コロナウイルス感染拡大が、令和4年に入り再び「まん延防止等重点措置」が発出されるほどの広がりとなり、当事務局としても再度事業停止をせざるを得ない状況となりました。中学校での授業を予定し、準備を重ねてくださったMTT (講師)の皆さまには心よりお詫び申し上げます。このようなコロナ禍ではありましたが、今年度を振り返りますと、当事業の活用を計画した中学校は18校・38プログラム、実施できたのは16校・28プログラムという結果でした。しかしながら、実際に中学校を訪問し授業を展開してくださった企業・事業者様は56社、延べ数として111社に上りました。MTT (講師)をお引き受けいただきました皆様へ改めて感謝を申し上げます。来年度においては、まだ見えない社会の状況ではありますが、当事業への更なるご理解とご協力を頂ければ幸いです。何卒よろしく申し上げます。



よこすかキャリア教育推進事業コーディネーター 大場 智和

※募集! あなたも中学生と語り合いませんか?働く大人たち(当事業講師:MTT)の連絡お待ちしています。

*MTTとは…マイ【M】タウン【T】ティーチャー【T】の略。横須賀で働く大人は、みんな子ども達の先生の意



～地域に生きる一員として、地域に支えられていることを知り、地域を支える自分になる～



「地元横須賀を知る!」にこだわった大津中学校のポスターセッションより生徒たちとMTTの声をご紹介します

大津中学校では、総合的な学習の時間の3年間のテーマ『未来(みらいびと)プロジェクト～なりたいたい自分になる～』に基づき、地域で生きる一員として、自分が地域に支えられていることを知り、そこから地域を支える自分になっていくことを目指し学習に取り組んでいます。2年生では、地域の一員として将来社会に出るために必要なこと(職業観)を学ぶとともに、地元横須賀について知りながら、横須賀の個性や強みを生かして地域を支え発展させていく力を育てていくことを目標としています。今回は、横須賀を愛し、横須賀にこだわって仕事をしているMTTの皆さんにお話を聞くことができ、新しい発見や興味を膨らませることができ、感謝しています。



大津中学校
高橋 岳人 様

大津中生徒とMTTのメッセージ

2-1 大石 樹 (株式会社トライアングル(水運業) 水上 比弥 様)



横須賀のイメージにぴったりの「軍港めぐり」や猿島の豊かな緑を使った「異空間体験」イベントを行っているトライアングルの水上様のお話を聞いて、横須賀は海や森の自然がいっぱいあるのがすごみなんだと気づきました。自分たちの周りには豊かな自然をこの先も守っていこうと考える機会になりました。

私なりに「横須賀の未来」に希望を持ってくれるよう、生徒さんにお話しさせていただきました。私の何気ない一言が、生徒さんの将来を左右することになるかもしれません。言葉を選ぶ難しさや想いを伝えるツールの選択など、私自身も多くのことを学ぶことができました。今回の出逢いをきっかけに私の話を聞いた生徒さんがトライアングルに入社してくれたら嬉しく思います。



2-1 宮上 真悠子 (株式会社Macmillan(デザイナー) 横地 広海知 様)



「誰に何を言われても、やりたい気持ちがあるなら最後までやる」スカジャンのデザインなどをされている横地様の話を聞き、私は解放されたような気持ちになりました。中学に入ったとたん好きなことをする時間が無くなり、夢だった絵の職業をあきらめていたからです。ものづくりが人とつながる場所だということも知り、改めてものを作る仕事を魅力的だと感じました。

今回初めて中学生の方々にスカジャンやドブ板通りについて紹介する授業をさせていただきました。計6コマありましたが、それぞれのクラスごとの反応を参考に微調整することでスカジャンの魅力や次の世代に伝えるために必要なプロセスが次第にクリアになりました。私にとってはまたとない学びの機会をいただいたと思い、大変感謝しております。生徒の方たちの中から次のスカジャンカルチャーの担い手が登場してくれたら嬉しいです。



2-2 橋本 辰裕 (網元 房竹丸(漁業・小売) 宮川 聡 様)



横須賀近海で獲れる魚や漁法などはじめて知ることばかりでしたが、特に印象深かったのは、地域のイベントやお店とコラボしてみんなで横須賀を活かそうとしてのお話です。仕事を上手くこなすためには、人と関わることで、良い人間関係を築き上げていくことが大切なのだと感じました。

漁師が何をやるかわからない生徒たちに自分の仕事の話をするのはとても緊張しました。けど、とても素直な子供たちで、また自由な発想が聞けて、自分にも刺激になりました。「失敗しているけどなぜ挑戦し続けるの?」と鋭い質問もあって、「失敗するとやっぱり周りからダメだったと言われるけど、ダメのまま終わりたいくない、失敗のまま終わらなければ、それは失敗じゃない」と伝え、自分も再確認できる機会となりました。



2-3 江田 妃夏 (ながしま農園(農業) 長島 勝美 様)



これまであまりふれる機会もなく関心もなかった農業ですが、長島様のお話を聞き興味を持つようになりました。特に中水の利用や里山の有効活用など、環境を守りながら農業を行う様々な工夫のお話が印象深かったです。

食の安全という議題の中で農業という職業に興味を持っていただける生徒さんたちが多く、また農業を通して動植物に興味を抱き環境問題にまで思考を進めている生徒さんもお話を聞いて、頼もしく思いました。講演を通し彼らのような志しを支えられるような産業に微力ながら変えていければと思いました。



2-4 山本 真凛 (一社) 横須賀市観光協会(イベント企画運営) 富永 菜月 様



イベントには3か月～半年以上の準備期間があり多くの人や団体が協力して実施されているものなだと知り、長い期間準備されてきたイベントの開催がコロナの影響で難しくなっていることを残念に思っています。今年はたくさんのイベントが開催できることを願っています。

「横須賀市観光協会」知っている?と質問をしたところ、手を上げてくれたのは数人。自分の働く会社が知られていないなんてショック…としましたが、考えてみると私自身「観光協会」の存在を知ったのは大学時就活期に入ってからでした。本事業を通して、世の中にはたくさんの業種・役割・働き方があることを知ってもらえたら嬉しいです。学生さんの真剣にメモを取る姿や元気な挨拶に、社会人10年目、背筋が伸びました。



2-5 山野井 呼春 (社福) ユーアイ二十一特別養護老人ホーム太陽の家(介護福祉) 平田 吉輝 様



お話を聞き、介護とは単に「お世話をすること」ではなく、「本人のできることを増やしていく、できないところは改善していく」ということだと知り、相手の気持ちを考え一人ひとりの好みに合わせることも重要なのだと知り、技術だけではなく仕事に対する気持ちが大切なのだと学びました。

私たちは、一人でも多くの若者に介護の仕事を知ってもらいたいという思いでこのプログラムに参加しています。最初、生徒さんは少し緊張した面持ちでしたが、こちらから質問すると意欲的に答えてくれました。彼らの真っ直ぐな瞳に、私たちはどのように映ったのでしょうか。人間はなぜ働くのか、自分自身を見つめ直す時間でもありました。働くということは誰かを幸せにすること。彼らが希望を持って社会に羽ばたく日が楽しみです。



2-5 宮本 耀汰 (横浜製機株式会社(製造業) 関根 宗平 様)



「やることに全力を尽くす大切さ」について学びました。実際に横浜製機の方が開発した鉄道のドアに触れて、かなりの試行錯誤が重ねられてここまでたどり着いたのだと実感しました。講師の方の言葉「人事を尽くして天命を待つ」に感銘を受けました。私もこれからの人生、悔いが残らないようやれることは全力をつくしてやろうと思いました。

「思いは実現する」、いつだれから聞いた言葉かは忘れたが、私の頭の中にあり、都度出現し行動に影響している。このような言葉を一つでも二つでも思い、新幹線のドアや天井パネルを造る小さな会社の社長としての苦労話をしました。出てきた言葉は「横須賀は近代工業発祥の地」、「世の中思うようにはいかない」、「思いは実現する」、「結果は努力と運」、「人事を尽くして天命を待つ」などです。31人の受講生の感想文の中に22か所それらの言葉が書かれていました。受講生の将来時点で役に立ったかと聞いてみたいと思います。



2-6 青木 大河 (株式会社アンカー Cool Clan URAGA(飲食業) 慶本 正憲 様)



横須賀は口コミ文化が残りと、地域の人同士の関係が深いという強みがあると知り、横須賀の活性化には、新しい取り組みも必要ですが、慶本さんのように地域に根付いた個性や強みを生かし、地域との繋がりを深め、地域の事業者などと協力して横須賀についての発信をしていくことが大切だと感じました。

普段接点のない中学2年生の子供達と対話ができる貴重な機会をいただき、大変感謝しております。対話のための準備を通じて私自身の振り返りができ、また、地元の子供達の面白いアイデアや意見はとても新鮮で、スタッフ達と共有して実施できそうなものを検討することになりました。拙い話で恐縮ですが、弊社の地元感を出した店舗運営の取組が「横須賀の魅力」を考える一助になれば幸いです。



2-7 室岡 帆波 (横須賀カレー本舗株式会社(飲食・小売業) 横尾 美香 様)



横須賀名物「海軍カレー」のことや口コミがすぐに広がる地域性のことなどをお聞きして、これまで関心なかった地元横須賀のことをもっと知りたくなりました。お客様のことを第一に考えていることなど、楽しそうなお仕事について語る横尾さんの話を聞いて、自分の好きなことをお仕事にできるのはすごく良いことだとわかりました。

大津にお邪魔しました。言葉選びに迷う中、一方通行にならず、いかに「生徒さんの目を輝かせるか」、「横須賀で仕事をするやりがいを伝えるか」を意識して話しました。後日生徒さん達から感想を頂き、多くの共感を感じていたことにホッとしました。生徒の中から「横須賀で仕事をする」メンバーが一人でも増えれば幸いです。私自身も「カレーの街よこすか」とともに歩んだ23年間を振り返る貴重な時間を頂けたことに感謝しています。

